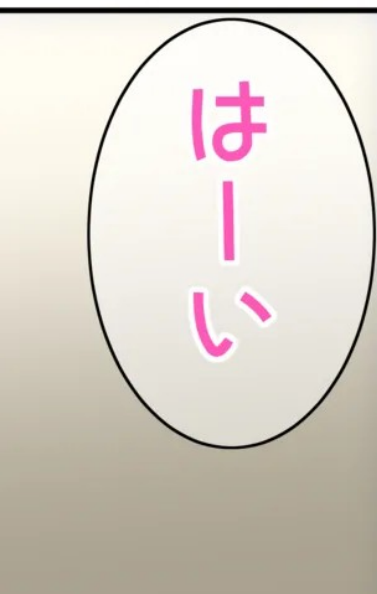


僕と
まりんさん

はらへら
hara hera

R18



あら、高木君
よく来たわね

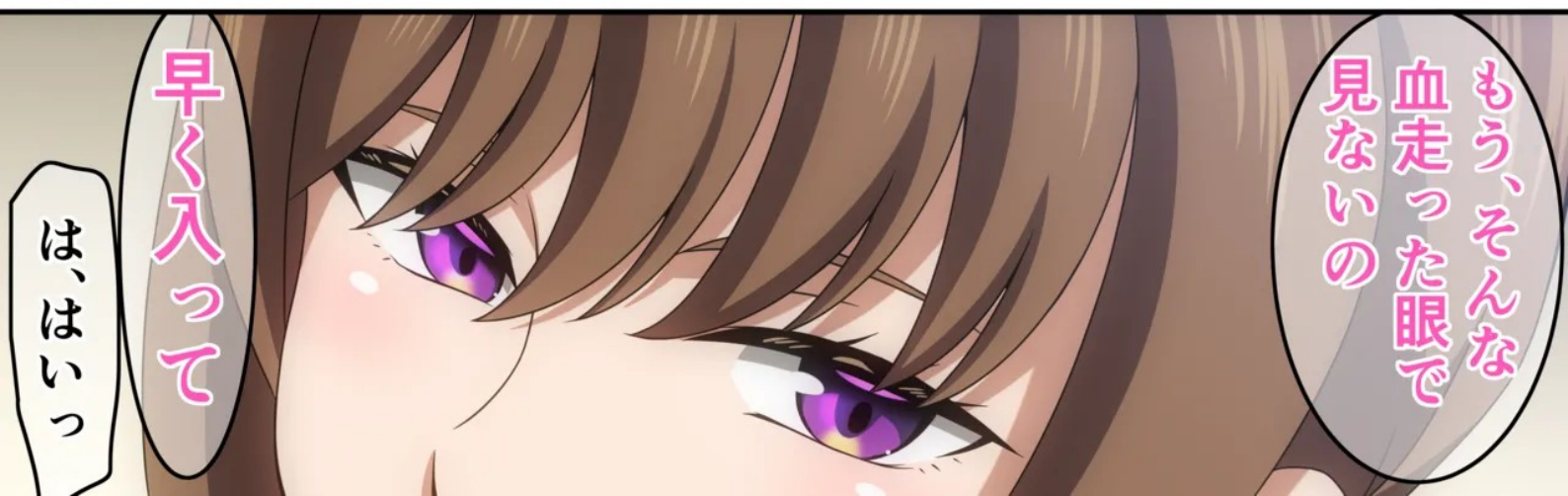
こ、こんにちは
まりんさん……



もう、そんな
血走った眼で
見ないの

早く入って

は、はいっ



お邪魔します…

はい♡

また来てしまった…

彼女の名前は
桃瀬まりんさん

うちのマンションに
住んでる大学生の
お姉さんだ

ご近所付き合いの
関係で親しくなって
一人暮らしだった
俺の世話をよく焼いて
くれた

そして受験を控えた
俺に勉強を教えてくれる
為によく家に招いてくれる
様になったのだが

若い男女が
一つ屋根の下

何も起きない
はずもなくって
やつで…

俺はまりんさんと
セックスをした

初めてのセックスは
とても刺激的で気持ち良くて
俺の脳は完全に焼かれた

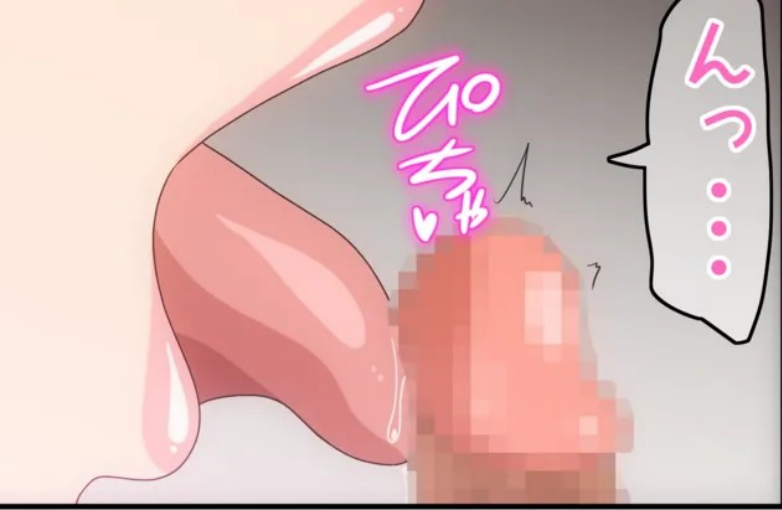
それ以来俺は毎日の様に
まりんさんの家を訪れて
いる……

そんなに着込んで
暑くないの？

これは……

ふふ……







あっ...あああ
まりんさん...

気持ち良い...

んじゅ...

ん...

ん

ううううううっ！

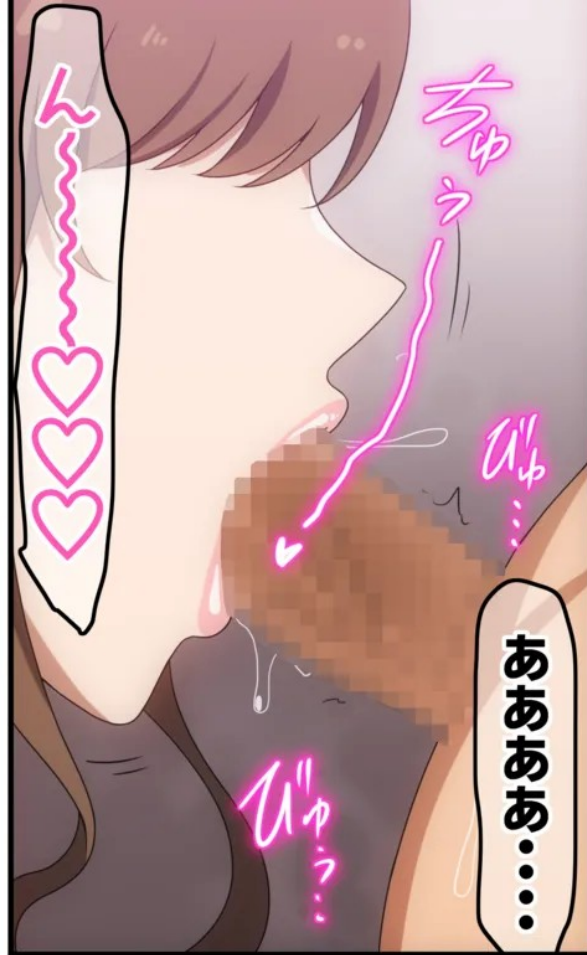
ちゅーん
ちゅーん
ちゅーん

ピクピクッ



んあっ

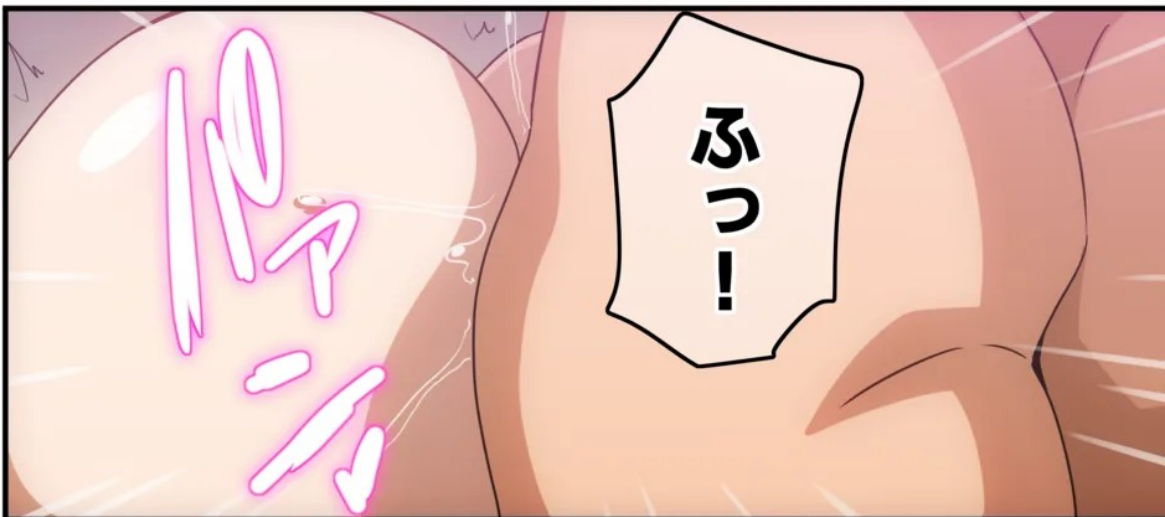
と
びゅ
ん

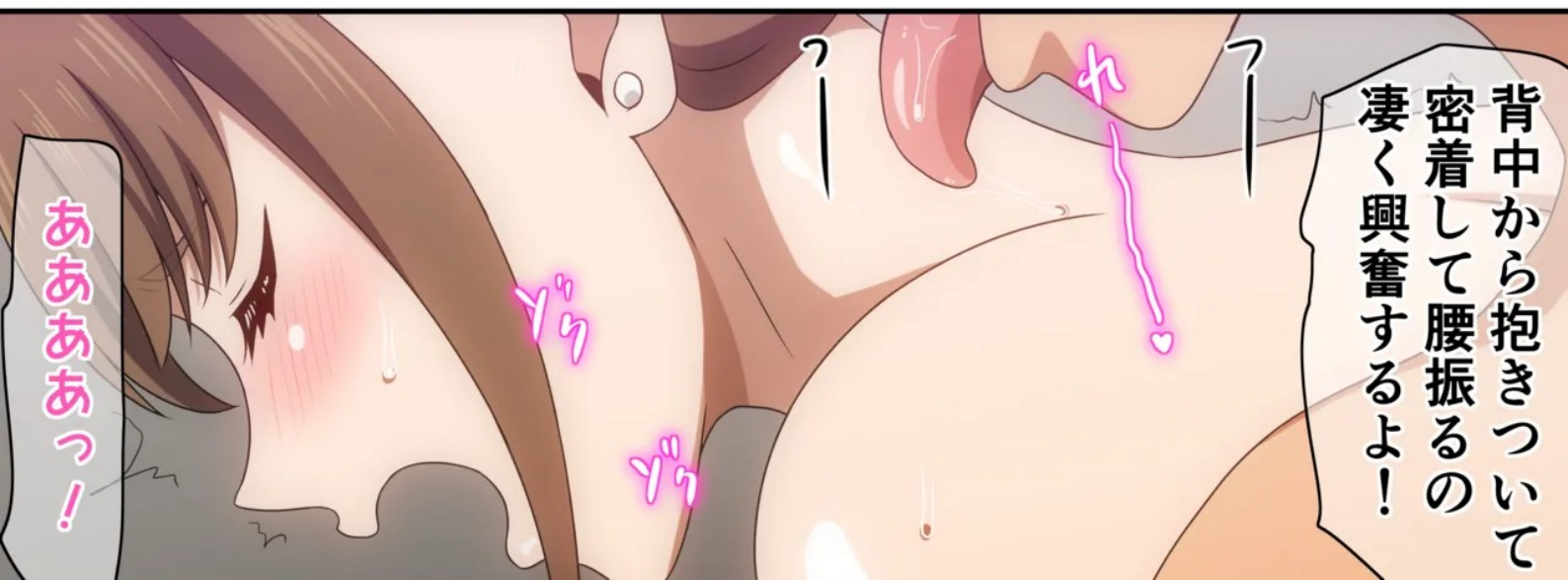






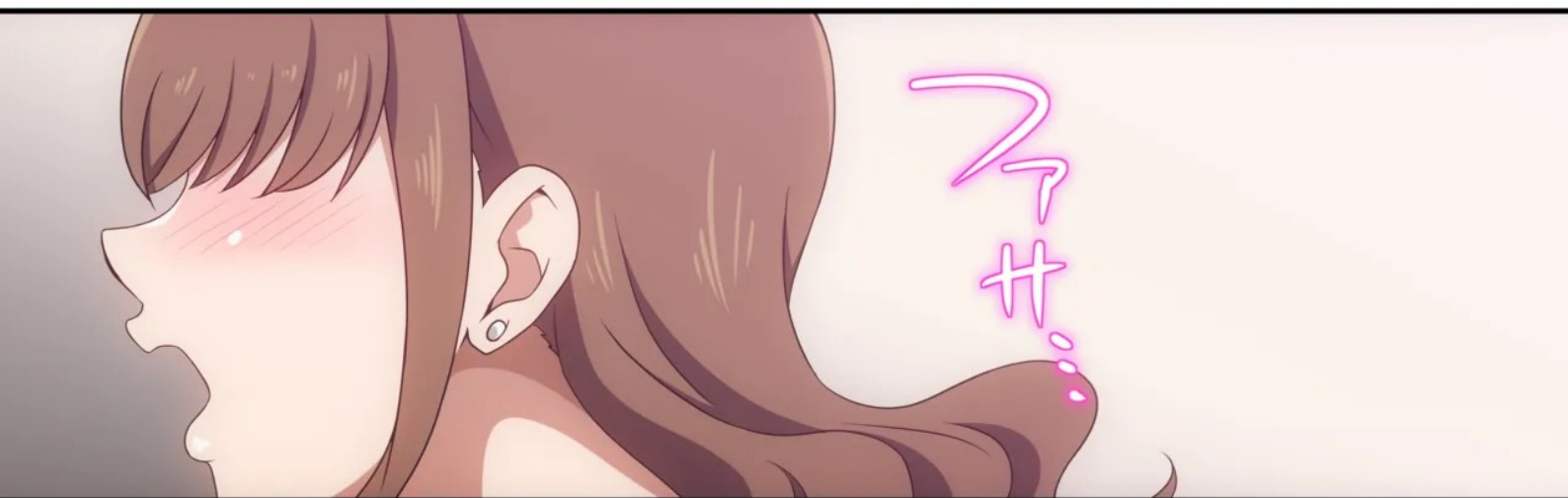






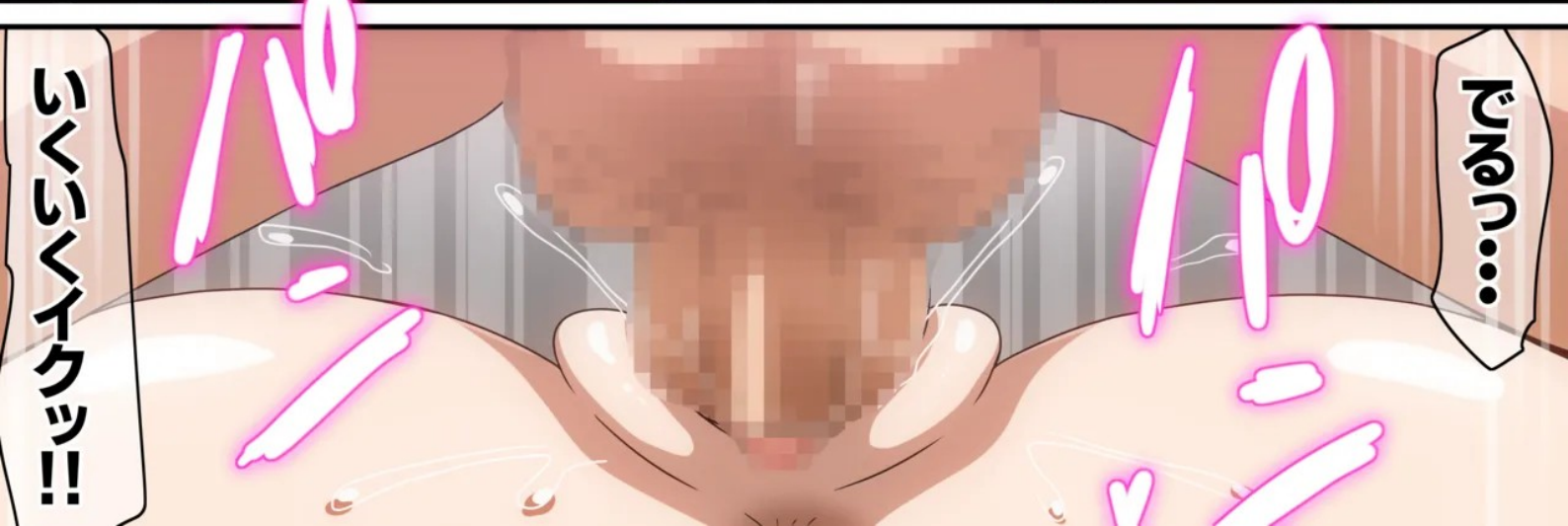
背中から抱きついて
密着して腰振るの
凄く興奮するよ!

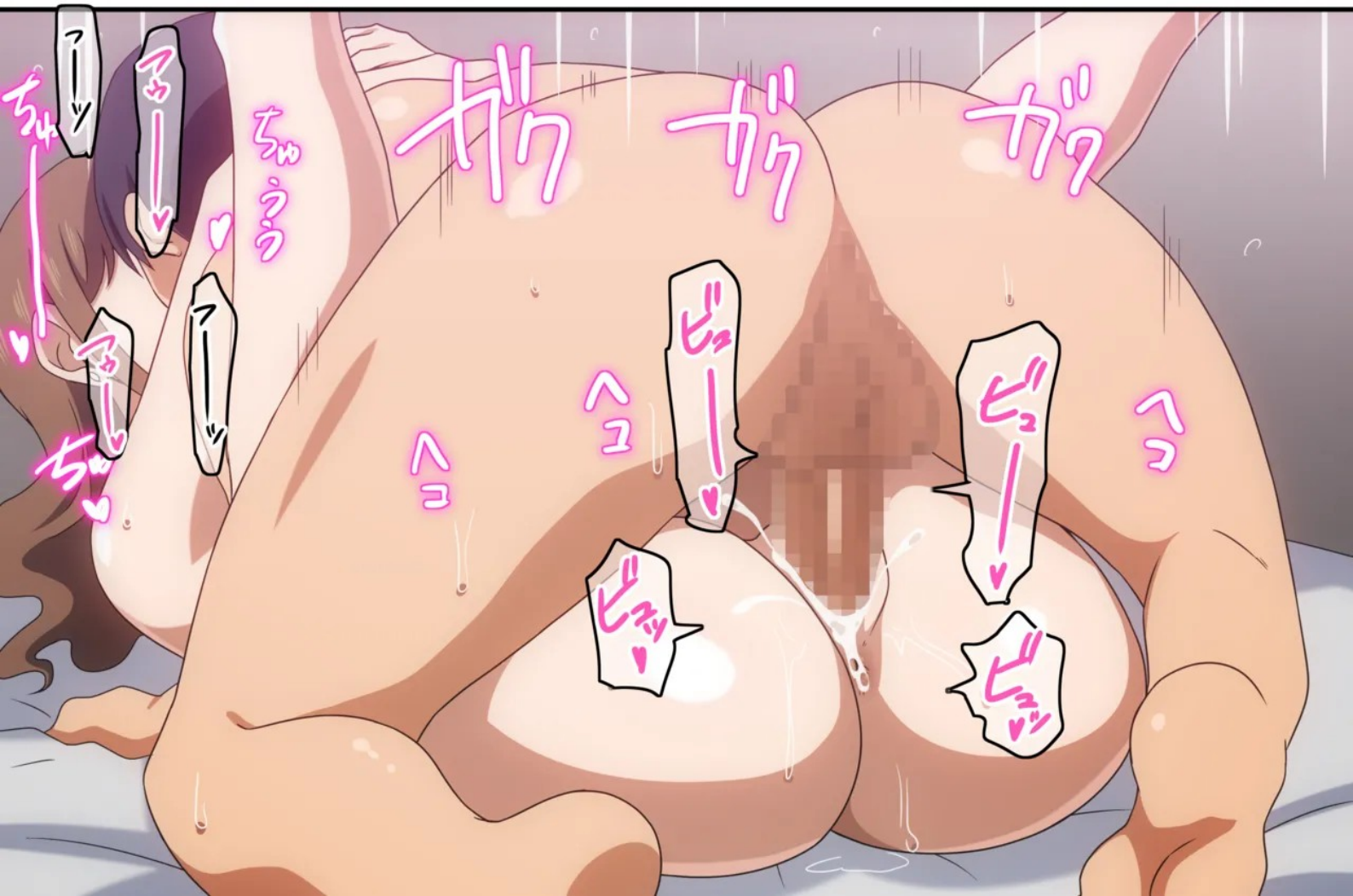














若いんだから
もっと頑張つて



こうしたら
また勃つでしょ

はむ♡

ひゅっ...!!



あぁ

またキスマーク
が増えてしまった



ま、まりんさん
俺もう限界：
休ませて...

ええ...もう
限界なのお...?

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡



